



月 日 名前

なぞって練習

あるいはたまたま身本
慥かにして相忘の身代
ある者も、金錢を貯
うることを知りて子孫
を教うることを知らず
教えざる子孫なればそ
の愚なるもまた怪しむ
に足らず。ついには遊
惰放蕩に流れ、先祖
の家督をも一朝の煙と
なす者少なからず。
かかる愚民を支配す
るにはとて道理をも
つて諭すべき方便なけ
れば、ただ威をもって
畏すのみ。

- ふりがな（青空文庫のふりがなより）
- ・身本【みもと】
 - ・慥か【たしか】
 - ・貯うる【たくわうる】
 - ・諭す【さとす】
 - ・畏す【おどす】